THE WOMAN'S WEEKLY

大正五年六月十六日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

第貳巻 第二十五號

每週金曜日發行

婦人週報

定價一部四錢五厘 郵送料五厘

本號目次

□改革の氣運に向へる愛國婦人會に就て(下)……小橋三四子
□時事週評……
□夏の自然(一)
△雲の峰……理學博士 岡田武松
△植物の歡樂時……理學博士 山內繁雄
△薄衣の女……高村光太郎
□大觀氏邸に於けるタゴール翁……記者
□百折不撓のたまもの……
□舞扇の哀史(下)……
□學校に於ける父兄會……薄田斬雲
□夏の化粧……遠藤波津子
□今週の惣菜……櫻井ちか子
□小說『妻』……阪東みちみ
□お伽話『狼と山羊』……たか子
□時事……公娼廢止の運動費……編輯室より……

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

珊瑚、眞珠、專門商

玉、根掛、ピン、ヴローチ、ボタン、彫刻、其他男女装飾用品一切

今回海事博覧會に於て
皇室御買上の光榮を蒙り
猶ほ金牌受領、其他内外賞牌數十

支店　東京市神田區今川橋　井上珊瑚珠店　電話神田(長)八九五番

本店　高知市播磨屋町

出張所　神戸市中山手通り四丁目

窪田空穂氏序　太田水穂氏序　島木赤彦氏序

山田邦子著

歌集　光を慕ひつゝ

菊半截布製美本　著者肖像入　定價六十錢郵税六錢

最新刊

世を呪ひ、人を呪ひ、己れを呪へる底より、言ひがたき悲痛をもて、何物にか祈らんとせし女史の歌は、既に公表せられて若き人々の胸に深き感銘を與へたり。今や、女史は、其熱き涙の底よりして、遂に喜悦の光を見出しぬ。迷ひの谷をぬけて、深遠限りなき愛の光に近づかんとしつゝあるなり。見よ、其聲に強き權威湧き、其調べに深き感謝躍る。生命の芽生の力は収めて此一卷にあり。

發行所　東京市牛込區山吹町二六〇　曙光社

生れつき姿の悪るい方でも帯を上手にしめるさへ遊へる樣に恰好よくなります誠に婦人の姿は帯の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますがさて帯を上手に締めると云ふ事も簡單の樣で中々六ケ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之はつまり帯上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帯上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美しく保たれます、のみならず帯上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帯から下が長く見えて肩、脊中、帯の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帯上げで胸を締めつけないでも済むから呼吸が自然で女子本來の呼吸(即ち胸式呼吸)を完全に營む事が出來ますつまり内臓(肺、心臓、胃等)の機能を十分に行ふ事が出來る理であります、故に衛生上極めて理想的の品であります。

審美的な、衛生的な

專賣特許

帯あげ上め

定價三十錢ヨリ

販賣店

三越呉服店
三越大阪支店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松阪屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 萬新商店
同 富士喜商店
本社代理部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

改革の氣運に向ひし
愛國婦人會に就て（下）

□多事ならんとする婦人界

内に改革の氣運の萠したる愛國婦人會は、また外より其の大なる力を頼りに須ちつゝあるものがあります。即ち我が婦人界も今や漸く多事ならんとし、我れに隣りする同性の間に、種々の問題の起りつゝあるに氣付かるゝでありませう。しかもその問題は單に智惠を貸し、精神を以て援助するに止まらず、同時に多大の資力を要するもので、從つて愛國婦人會の如く、上下擧つて協力する一大機關に依らなければ、到底爲すを得ざるものであります。

□撲滅された私娼の後

先づ近く警視廳によつて行はるゝ私娼撲滅策は如何でありませう。彼れ等は男子の遊蕩兒と同一視すべきものではなく、多くは生活の爲に止むを得ず暗い業を營むに至つたものであります。官憲によつて追はれたる彼れ等は公娼に赴くか、他の不正の道に陷るか、成行きに任せて置けば、何れは好ましからぬ處に陷るより外はありませぬ。此處に淸い婦人の血と涙とが加つて、少しの後と押しを加へると否とは、彼れ等の前途に大なる相違がありはしますまいか。國家の爲めに一命を抛つた人の遺族が餓ゑるのは、もとより同情すべき事には違ひありませぬが、我れ等の同性が、生きながらの地獄に落ちて、自らを殺し、人を毒する事は、心ある者の傍觀するに忍びざる處であります。

□公娼全土を覆ふに至らんか

續いて新嘉坡からは、英國政府に追はれて千人に近い私娼は、大なる耻辱を擔つて歸國すると聞きます。彼れ等は無智にして、爲すべき事を知らぬ者であります。正業に就かんとして、容易に職を得られざれば、また更らに本國に醜業を再びして、社會を毒するより外はありますまい。政府がいかに公娼保護を以て、男子墮落の緩和劑の如く心得て居るとしても、神聖なる我が日本をして、遂に公娼を以て全土を覆ふとも、なほ可なりとは致しますまい。

□冷淡な罪

最後に公娼廢止も亦婦人によりて叫ばれずして、何時の世にこの忌はしい制度の改革が行はれませうか。我が子の墮落を悲しむ母は先づ起つてこれに一臂の力を添へる事が當然であります。事勿れ主義に過して來た婦人は「誰れかがしてくれやう」と手を束ねて居るその冷淡さはまた社會の廓淸を遲くする一つの罪を作つて居ると申さねばなりませぬ。

□徹底した救濟

これ等淪落した婦人を救濟する機關としては、從來僅かに救世軍の婦人ホーム婦人矯風會の慈愛館あるのみで、しかも資力の缺乏は、充分の設備を爲す事能はず、救濟の不徹底を恨みとしました。聞

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く所によれば、英米國に於ては、淪落した婦人を救濟するには、其の心身の再生を計る爲めに、廣き庭園を備へて、清涼なる空氣と、充分なる日光と、新鮮なる野菜とを與へ、なほ高尚な娯樂を設けてその荒廢せる趣味を漸次に復活せしめつゝ、精神上、肉體上よりの良感化を與ふる事に務めて居ると聞きます。救濟を行ふ以上は、生半可に捨てゝ置く事は、もとより褒むべき所に非ず、從つてこれに要する莫大の費用をも用意しなければなりませぬ。

□總會を利用して

右に擧げたるものは、何れも私共の目前に迫つて居る急務の一二を數へた迄でありますが、暫らく心を潛めてわが周圍を見れば、實に爲すべき事の多きに驚かざるを得ませぬ。もし愛國婦人會が總會を利用して、活動や演藝の割引券を配布する代りに、帝都に於ける諸種の社會事業を觀察するの便宜を計り、無意義な招待會、茶話會に代ふるに、會員の智識、精神を啓發するに足る講演會を、開く程にでもなつたら、必ず「これではならぬ」といふ聲が今一層盛んに起つて參り、適切な事業を續々見出して、同じ會費と會員の勞力とを、眞に愛國の精神に適つた道に捧げる事が出來やうと存じます。

（三四子）

時事週評

▲袁氏と吉氏の訃 時間は最後の勝利者です。袁氏の突然の死を聽いて世界は驚かされました。又英國の元帥キッチナー氏の北海での溺死は聯合軍側の多大なる傷手でした。この二つの死が先週に起つた事は時間の大なる不可抗力に對して今更恐怖の念を生ぜねばなりません。人間の野心は浮雲の如く、人間の努力は砂上の繪の如きを感じますが、さうかと言つて蟻の働きの積り積つては驚くべき結果をもたらすを想はねばなりません。

▲三頭領の申合 誰がなんと言つても、加藤、原、犬養三氏の申合はせは政界の一進歩と申さねばなりません。その申合はせの實際の効果に就て疑ひを抱き、大隈首相をも何故加へざりしやと申す者もありますが、加へない所に價値があると思ひます。又その申合はせに、外來の勢力に動かされざる事として、暗に元老排斥をした事も喜ぶべき事でせう。時代は新らしく又若くなりつゝあります。その變化を知らせるためにも、大隈首相などを加へなかつた方が善いのです。今ではまだ政黨以外の勢

二

力が政界を支配してゐますが、今後十年の中には、政黨だけが政界を支配するやうになりませう。さういふ時勢の先驅として、政黨の首領だけを集めて、かういふ申合はせをさせた三浦子の功績を認めてやられねばなりません。

▲タゴール氏の講演 タゴール氏は十一日帝國大學で講演して、日本は西洋の文明に追從せずあせらずとも善いから、亞細亞文明の特色を發揮せよと言ひました。銀鈴の如き聲を以て沈痛なる演説をしました。記者はその演説を聽きながら、政治的に獨立を失つた國の聖者を憐れに感じました。日本に來て、もつと言ひたい事もあつたに相違ない。それを言ふ事が出來ぬのは憐れです。個人的にかういふ聖者が出ても、其國家に獨立の生命がない事はいかにも氣の毒な次第です。日本人はその點に於て幸福の民といはねばなりません。

▲ル氏の斷念 ルーズヴエルト氏は三度大統領たらんとする志を斷ちて、共和黨のヒユース氏を助ける事になつたさうです。ル氏が偉大なる事を認めながらも、二度以上大統領たるを得ずとの、ワシントン以來の建國の不文律に忠實なる米國人にはゆかしい精神があるといはねばなりません。ル氏がこれを破らうとしたのは、その人物をして小ならしむる所以でありませう。米國今年の大統領選擧はかくて現大統領ウイルソン氏とヒース氏との競爭になるでせう。共和黨勝つか民主黨勝つか今秋までの見物です。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏の自然（一）

快濶な天に地に親しむしをり

雲の峰

理學博士　岡田武松

□夏の眞晝に

夏の日に聯想されるものは雲の峰であります。この雲の峰は夏の晝過ぎから起つて夕暮れに美觀を呈するもので、その形は大きな山峰のやうなもの丶所々に小山が起伏してゐるやうに見えるものであります。氣象の方から云ふと積亂雲或は雷雲と號けられてゐますが、俳人は之れを雲の峰と呼び、支那の詩人は夏雲奇峰多など丶詩に歌つてゐます。

□雲の峰の美觀

この雲の峰は學問上から興味あるのみでなく、自然界に美を添へ、且つ非常に雄大な感じを抱かせます。之れが山の近くに起ると山よりも遙かに高く聳え、しかも其の色は太陽と見る人との位置によつて各々異ります。或時は全體は鼠色で、雲の縁だけ朱色若しくは朱黄色に光を混へてさながら燃え出しさうな色の時もあります。太陽が西に傾くに從つて次第に變り、夕方になると紫色になり、畫や筆では寫し難い趣きを見せる。而して夕暮れになると夕燒雲が加つて一層美觀をそへます。日によつて現はれないこともあるが雲の峯の見える日は必ず夕燒雲は見えます。西の空が赤く黄色味を帶び、紫紅色を混へる。太陽が近づくと血のやうに燃え出しさうな色に變る。之れと同時に東の空にも淡紅色を帶びた光輪が現はれて、東西から夕暮の空を彩ります。

□七色に彩る雲の橋

之れ等のもの丶外に虹があります。虹は雨脚に太陽の光線が射入する時に起る現象で、虹霓と言ひ、七色に彩る美しいものであります。虹は第一虹、霓は第二虹を指し、注意深い人がこれを見ると、虹霓の各々の內側に無數の光を見出します。その色は甚だ淡いもので氣象からは過剩虹と言はれてゐます。見逃し易いものではあるが、面白い現象である。之れ等が雲の峯と聯關して出てくる空の現象であります。

□その起る原因

さて此樣ものはどうして起るかと言ふに、夫れは頗る簡單で、夏太陽が昇ると同時に日射が強くなり、山谷の錯雜した地方では一地方のみ過熱になり、空氣が上昇して水蒸氣が圓頂閣のやうな雲を起します。これが積亂雲の根源で、その所々に過飽和の場所があつて其處に又圓頂閣が出來ます。過飽和の多いほど小山の起伏が多くなり、頂上に氷晶の雲を生ずると雹が降ります。夫れが雲の峰の通過する麓で雹の降る所以であります。而して雲の峰から落つる雨脚に光線が直射して起る現象が虹となつて現はれます。

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□夕　焼

夕焼は之れ等と全く別の獨立した現象であつて、空中に於る細かい埃が太陽の光線を反射した時に生ずるのであります

夏の日を思ふと、私は直ちにこの三つの現象を聯想します。

植物の歡樂時

理學博士　山内繁雄

□同情同感の通ふ處

物には習慣があつて、自分と相似た事には想像も興味も湧くものであるが、全く違つたものには、何の同情同感の通はぬものであります。今は私共の世界は眞夏に近く、次第に着物を薄くして居ります。やがて夏も過ぎ秋風が立つ頃から、また一枚重ね二枚厚くして、眞冬には室内に火鉢を置いて暖をとる、やがてほか〱と春の光りを受けて、若草の萠え出づる頃になりますと、再び着物を薄くし始めます。食物もその通り、春夏秋冬によつて、嗜好の異るまゝに、違つた物を口にします。

□貧者の喜ぶ夏

かく四季の變化のある事は、人間にとつて面白い事で、苦しみはありませんが、若し私共が着る物も無く、住ふ家もない貧窮者であつたら、年中の何時が最も困るかと云へば、冬であり、之れに反して一番樂な時は夏であります。植物は丁度貧窮者の如く、着物も住居も持たないので、秋から冬にかけては、葉を落して淋しい狀態になるが、きのふけふの如く夏に向ふ時期には、生々として枝葉が繁茂し、さも生を喜ぶが如くに見えます。

□植物の生活

然し植物は動物と違つて、自ら欲する儘に動いて、食を求め、家を捜ぬる譯にはいかず、居なりに境遇を利用して、時候に應じた生活をするのである。この點は全く人間と違つて居るので想像のつかぬ點であります、植物の食べ物としては、最も安價な何處にでもある炭酸瓦斯と水とでありますが、これを我々が人參、牛蒡、や米、魚を火を以て調理するやうに、熱を加へて、自らの養分にするのです。その熱は無代價の太陽の光線であつて、その調理は葉の緑の場所でします。

四

□木の下蔭の涼味

かやうな眼を以て見れば、夏は植物に取つては自然の恩惠の潤澤に充ち滿ちて居る時であります。植物はその恩惠を充分に受けやうとして、その枝葉を一杯に擴げて居ります。暑さに喘ぐ人が、木の下蔭に息ふて、涼味を掬するのは、人間に過度な熱を植物は出來る丈け吸はうとして居るので、自然のよい配劑が行はれて居るからであります。

□夏咲く花の色

夏の花は眞紅か、濃紫が多く、熱帶に行けば、往々葉が眞紅に燃え、濃紫に彩つて居るのがある。火事の樹はその葉が恰も炎の如く見えるので、遠來の旅行者は花と見紛ふ事が多い。赤や濃紫は、最も熱を避けるので、照りはたゝく光線を調和よく吸はうとての巧みである。これに反して熱が少し欲しいといふ時には黄色の花が多いので、春の始め、秋の終り頃や高山に咲く花、また夏の夜の花は大抵黄色であります。月見草などはよい標本でせう。

*　*　*　*　*　*

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

薄衣の女

高村光太郎

□顯はにその人が浮ぶ

私は彫刻が本職なものですから、すべて物を見るのに彫刻の眼を透して見がちで有ります。殊に女を見ると直ちに彫刻が聯想されます。若し夫れが夏の女である場合には、着物をとほしてその人の骨格までが明確と心に見えてくるので、更らに興味を深く覺えます。冬は身につける道具が多いので、うつかりすると騙され易いのですが、夏は薄着である所から顯はにその人が浮び出ます。これは女に限らずすべての物がさうで、男の人になると、もつと面白く感ずる場合が少くはありません。而してその形にしても、體と言ふものが唯大きな輪廓となつて現はれて、頭の補についてゐるものと違ひ、身體すべてがその人になり切るから氣持よく覺えます。わけて夏は着物の色合や柄合がその人と調和するので、餘計にチャーミングになります。日本畫などを見ても多く夏の女が畫題に選ばれてゐるのもその爲めなのでせう。

□大抵の人に似合ふ夏衣

夏の女は身體の調子に合つた着物を着る人が多い。宿屋で硬い御飯を焚くのは、硬い御飯は大抵の人の口に合ふからであるやうに、夏の着物は大抵の女に似合ふからなのでせう。またもう一つは冬はごて〳〵と色々の種類が多いけれど、夏は夫れが少ないから選び易いからでもありませう。しかし多くの中には思ひもよらぬ柄合ひの着物を着てゐるのを見かけぬこともありませんが、でも冬よりも見てゐて我慢が出來ます夫れは強い光りと熱さが外にあるので、えらい柄合ひのものでも外界の強さと自ら調和がされるからだらうと思ひます。又一面から言ふと、人間の生活も夏は大抵のものを受け入れる力を持つからだとも言へやう。冬は人の心も體もむすぼれ勝ちで、出るべきものも出ないと言ふやうなしよんぼりした形だけれど、夏は皮膚の色も艶やかに、體内の血も美しく流れ、爪や髮の毛までもよくなつて何となく伸々しく、活氣が漲つてゐます。元來人は何時もさうであるべき筈であるが、冬に尤も偉い人のみがその力を持續するに過ぎないのかも知れない。夏は大抵の人がその力を幾分なりと得て來るやうです。

□表情も强くなる

人の表情も冬よりも夏の方が强くなる。身體の内生活が外に出やすいからでありませう。私の言ふ表情は下等な西洋人が手眞似足眞似してあらはす下劣な形でもなければ、喜怒哀樂を極度に出す夫れの事でもない。じつとして動かないものにもある表情であります。コメデー・フランセイの座附きの女優の、スゴンウイベル夫人の如きは、最も表情の多い人だと言はれてゐるけれど、その人はじつと動かないが夫れでゐて微細な表情を現はす。曾つて自分の彫刻も及ばぬ表情だとロダンをして嘆稱せしめたと言ふが、私の言ふ表情は其れである。魂魄の現はれなのであります。即ちスピリットの働きであります。この働きを明かに出し得る人は偉い人と言はねばなりません。

□體は即ち其の人の心

夫れから夏は死んだ體を持つた人と、生きた體を持つた人との區別が冬よりも明らかに見えます。死んだ體を持つた人は心に生きた所の少ない人で、生きた體を持つた人は心が生々と絶えず慄えてゐる。死んだ體は厄介なお荷物のやうなもので、見てゐても氣の毒だし、不愉快でもある。心の働きが足らないから體も自

五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら死んでゐる。その人の心が眞實に働いてゐるなら必ず體も光つて見えます。決して體は體と思つてはならない。體は即ち其の人の心、心は即ち體であります。かうした區別が明かに見えるのは夏であります。

口美は却て勞働者の群に

よく茶の湯や踊りによつて體を作つてゐる人がありますが、夫れは單なる鍍金にすぎなくて、茶の湯の風の歩み方をすると、何だか面を被つてゐるやうで滑稽に見える。また踊をする人は意氣だと言ふが夫れも嘘である。藝者や舞子は大抵踊を習つてゐるけれど、みんな形が惡いのを見ても解るであらう。要するに鍍金だからでありませう。根本の心がないから何程鍍金をかけてもよくなる筈はない。感じが眞暗で、少しも透徹しない。素人が身體の形をよくする爲めに娘に踊りを習はせると言ふのは此の意味からは大間違ひだと言はねばならない。又男にしても俳優は形がよくなければならない筈だけれど、間拔けて見える。之れに比して踊りも知らなければ茶の湯の稽古もしなかつたらしいタゴール氏の如きは、何と言ふ宜い姿であらう。つまり體は心の發露であるからであります。私は時々印刷局の女工や電話交換手などの中に形の宜い人を見出すことがあるが遊惰な生活を營んでゐる藝者の中には一人も見たことがありません。すべて人の體全體が心となつて働いてゐるのは心地よく感ずるもので、殊に夏は之れが外に現はれ易いから、女の美醜も尤も判然する時機だと思ひます。

六

(一人一評)

尾崎テオドラ

▲繼母が來たといふので、先妻の息子達は皆下宿してしまひ、繼母が病氣になつたと聽いて、「おい、まだ死なゝいかい」、「うん、死なぬさうだ」、「さうかな」と先妻の息子達がさも失望したやうな聲を洩らすと聽いたら、繼母たる者はどんな感じがするでせう。先妻の子と繼母、これは容易に解決するとの出來ぬ社會問題である。

▲尾崎テオドラ夫人も不幸にしてさういふ立場に立つて居られる。人情風俗の變つた日本の家庭に入つて、澤山の先妻の子に對されたのだから、其の間が圓滑にゆかぬのも無理はない。けれどテオドラ夫人が日本夫人であつたら、尚更先妻の子に氣兼ねをして神經をなやますので、辛かつたらう。そこは外國夫人として育つた方だけに、案外氣樂な處があるであらうと思ふ。先妻の息子達がどういふ心を持つてゐるかなどは、考へずに過すとが出來るでせう。

▲尾崎行雄氏もテオドラ夫人を得て、初めて好配偶を發見したやうに世間から羨やまれてゐる。けれども糟糠の妻であつた先妻時代と現在とを比較して、どういふ感じがあるか御當人の赤裸々な、告白を聽いて見ればわからぬ。金がかゝつて困るといふやうな評判もあるし、又テオドラ夫人は自分の小使は著書に依つて自分で稼いで居られるといふ評判もある。兎に角尾崎氏は金に縁が薄く、借金に縁が深い人である丈けに、尾崎氏がテオドラ夫人の生活費の多いに困るどころかテオドラ夫人の方が尚一層困つてをられるかも知れぬ。

▲尾崎氏の趣味は至つて淡泊である。食物など少しも好惡がないさうだから、それだけテオドラ夫人が日本の風俗になれないでもやり善い處があるであらう。若し尾崎氏がテオドラ夫人のため活動力を鈍らされたとしても、その家庭が幸福であれば御當人は滿足されるであらう(くも)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

タゴール翁

大観氏邸の

□

去る五日、折からの新月を掠めて、鳥人スミス氏が帝都の夜天に爛々く金蛇の尾を引きし午後八時半、印度の詩聖タゴール翁は神阪一週日の客を辭して、東都の人となり、群集歓呼の中に馬車を驅つて、上野池の端なる横山大観氏邸に入りました。

□

滞京中の詩聖は、夢まだ圓かならぬ曉天四時ー、上野の梵鐘が不忍の水に谺して曉を告ぐれば、直ち蓐を出でゝ、居室の欄に倚り、淡く白く明けて行く森を眺め、池の面に立つ漣漪を見下して、静かに冥想し、或は紙を展げて湧き出づる崇高き想を澁滞なき筆に走らせては、たゞ静寂を無二の友として居られます。

□

大観氏邸に入つてからの氏は、全く打ちくつろいで、故國の邸宅に居らるゝと同様寛かに趺坐して、些の倦厭をも感ぜられぬ様子です。氏は我國を憧憬する事深かりしだけ、我が風土文物を愛づる事厚く、細かきものにも興を覺えて、朝夕の寛ぎに、主人畫伯の輕き衣單を纏ひ、或る時は飾り少ない印度服を、薄い羽織に蔽ふ事も少なくないとの事でございました。

□

箸とフォークとスプンとを備へた食膳には、氏の此の上無く好まるゝ日本食の、煮物焼物はもとより刺身の如な生物までも配せられますが、特に喜ばれるのは辛子の類で、必らず食事毎に口にされるとの事です。自由自在な指先きで、箸やフォクを巧みに使ひ分くる氏は、尚は爾來ならされた手食で、純な故國の習慣を示さるゝのも誠に尊く思はれます。

□

しのゝめに起き出づる氏は臥床も亦八時より九時の間といふ、今の氣節には未だうら淺い宵ですが、時折り何にかの妨げがあつても十時を出づる事は無いと伺ひます。普通の蓐に横臥して、兩の脇下へ長き枕の如きものをあて、輕い布團に蔽はれて、静かな夢路に入るのです。

□

入京後の氏は、未だ自由に東都の地を遊ばれた事は少なく、たゞ一夜暗い池畔を逍遥して觀月橋上から、水に浮く堅い蓮華の一つ二つを指され自國の風光を追想されて、さも満足げに微笑まれたと云ふ事です。かくして氏は流朗なる英語を以つて快談時を重ぬれば、いつか談話は常に崇高なる靈界に走り、聞くもの悉く感に打たれざるはないとの事です。

宮様の號令

▲九段の靖國神社横の山階宮邸の前を夕方通りますと、清らかに高い號令の聲が聞えます。之れは幼い宮様が、家扶家從の子女を集めて、遊ばれるので、活潑に體操の出來た子供には、御褒美に御菓子を下さるのださうです。▲母宮殿下は内玄關にお腰を下ろされて、この光景を打ち見やらるゝさうですが、この時許りは、淋しげな御面が、輝いて居らるゝさうです。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

百折不撓の報たまもの

醫術開業試験合格者中 異彩を放てる藤井女史

□常ならば樂隱居を夢る年

この十二日文部省で發表された醫術開業試験合格者の中に、藤井かう子女史といふ今年四十六歳になる婦人があります。女史は法學士藤井宇平氏の夫人で、十六歳を頭に、五人の子女の母君であり、世の常ならば、只管に家事に沒頭して、良人を賴み子女の出世を希ひ、はやくも樂隱居を夢みる年頃でありますのに、血氣盛りの青年に打交つて、かうした職業の特權を握られるに至つたその經歷は、眞に隋弱な當世人士を起たしむるものがあります。

□廿四歳にして學窓に志す

その昔女史の母君は、醫術研究の必要を頻りに考へられ、自らも家計を節して醫學書を買ひ求めてはこれを精讀せられましたので、娘のかう子女史は當時唯一の男女混淆の醫學校濟生學舍に入學させる事となりました。かくて希望滿々の二ヶ月を學窓に過した時、圖らずも母君は世を去り給ひました。家政の都合上退學した女史は、常に天に在る母君が「勉强せよ、勉强せよ」と勧めらるゝ心地がして針持つ間も安らかな心地がありませんでした。そこで間近な女子學院に通ふ事となり、中學部二年に入つたのが、今から二十餘年前女史が廿四歳の時でありました。

藤井かう子女史

□「牛の歩みのよし遲くとも」

院長の矢島楫子刀自は、女史の晩學を嘆ずるのを見てとり、應接室に靜かに招いて、自らも四十にして初めて勉學に志したる事を語り、「怠らず行かば千里の道も經ん、牛の歩みのよし遲くとも」といふ一首を書き送られました。女史はそれからは十四五の少女に打交つては、「それは犬です」「トムは紙鳶を揚げて居ます」と云つたやうな英語の初歩を學ぶ中にも常に「牛の歩みのよし遲くとも」とくりかへして居られました。一と通りならぬ努力に、可成りの成績を納められましたものゝ、なほ英語を以て立つ事は到底出來ないと悟つた女史は、母君の遺された醫學書を繙いては人々が散歩や談笑に耽る間に、解剖、生理を研究され、廿六歳の時、醫術開業試験に應じて、その前期に美事合格されました。

□結婚後の勉學

その後二年半斗りにして、女子學院を卒業された女史は、女子美術學校に二ヶ年斗り教鞭を執られなどして居る中に、良縁整ひ、藤井氏と結婚する事になりました。藤井氏は非常に學問好きの方とて夫人に向つても「何か一つ專門を勉强したらよからう、それが嫌なら臺所に入つて、御飯炊きに甘んじよ」と云はれるのでした。渡りに船を得た女史は喜び限りなく、早速日本醫學校に六ヶ月間通はれ、電車の無い事とて、一時間餘の道を雨の日も風の夕も歩いて往復されました。臨床講義を聽いて、夜遲くなつては支那人に後を付けられた物騒な目にも會ひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ましたもの、好きな道さて樂しく研鑽を積まれました。その後良人の病氣や、子女を次々に持たれたので、一時中絶されましたが、只一回後期受驗に應じて不合格に終りました。越えて廿餘年を經た昨年の七月愈ゝ最後の難關を越えんものと決心され萬事を捨てゝ再び勉强に取かゝられました。

□令息達の奮勵

女史は早朝床を離れると先づ女中に一日中の仕事を命じ、自らは良人の上、子女の事、わが身の指導を神に祈禱してやがて辨當持參で圖書館に通はれました。此處では安神して全く學事に沒頭する事が出來ましたとの事です。なほ貸出の書物を以て、夜より朝にかけて眠より醒めてあれば、何時でも繙いて居られました。母君のこの努力を見て「お母さんさへあんなに勉强なさるのだもの」と中學三年の令息は、もはや數學は高等學校に入學が出來る程に準備されて居り、十三になる次男は、第一中學の六ケ敷入學試驗に好成績で入學されたと申します。女史は昨年から學術と實地の試驗に應じた事は前後四回であつたさうです。堅忍不拔な精神は遂に今日報はれて、合格の光榮を擔ふに至られました記者は女史を訪れてお喜びを申すと「私の力では御座いませせん、上よりのお導きを始め、恩師矢島先生、親切な友人や、今は世に亡い母、勉强を許してくれた良人等の後援と申す外ございません」と申さるゝ中にも、感迫つて涙ぐまるゝのでありました。

舞扇の哀史（下）

轉化して藝術に志し新生命を得たる女史

遠きアルゼンチンにある許婚の人は、聞くも痛ましい罪名のもとに、暗い獄屋の人となられたのでした。

□豫測し得ぬ人の運命

大抵の場合、自分の運命はおの〳〵自分の内生活によつて織り出される事が多いのでございますが、しかも運命の鐵槌が強く頭上におろされた時にはじめて驚愕して色を失ひがちなものでございます。女史の場合は少く之れと意味は異りますけれど、でも悲しい運命が足下に押し寄せるまで、露しるよしもなくして、唯、平和な日を樂しんでゐられたのでした。げに瞬時の未來も豫測し得ぬ人の世の果無さ、女史の心は如何なであつたでせう。一年後の歡びを夢見て、ひたすらに戀しく慕しく、なつかしんでゐられた

□メーテルリンクの「內部」

『ほんとに分るやうで分らないものは人間の運命でございますわね。たとへ不幸が扉の外まで歩みよつてゐても、人は敎へられるまでは知らないで過してゐるんですもの、私は泌々、人間と言ふよりも、自分の無智が悲しまれましたの。』と仰有つて、女史は口をつぐみ、更らに思ひ出の糸を手繰るやうに、『あの何日でしたか、藝術座の人達がメーテルリンクの「內部」と言ふ芝居を致しましたのね。追

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ひかぶさるやうに柳の木が茂つてゐる古い庭の奥に一軒の家があつて、その家の三つの窓から燈火が洩れて室内には父親と母親と娘が二人と、母親に抱かれて眠つてゐる幼兒との五人が、テーブルを圍んで暖かい明るい光を浴びながら、平和な宵のつどひをしてゐると、その庭へ一人の老人と見知らぬ男とがおづ／＼と這入つて窓の方を見ながらヒソ／＼と密語く。夫れはこの穏やかな家の娘の一人が水に溺れて死んだのを報らせに來てゐるのです。けれどそんな怖ろしい死の報せが窓硝子一重の外に來て躊躇してゐやうなどゝは知らないで窓の内では尚ほ平和な笑聲が洩れてゐる。あのお芝居には深い／＼意味が含まれてゐると申しますけれど、唯目に寫つた夫れだけでも、人の力の弱いことを覺らされたやうに思ひましたの。私なども、その時が來るまで何も知らずにゐましたから。』と或る方に語られたと聞いて居ります。

□忽ち暗黒の底に

一度悲報を聞かれた女史は考ても／＼夫れが眞實だと思はれませんでした。之れは何かの間違ひだらう、間違ひに相違ない。明日にもなれば虚報だつたことが分るだらう、夢ならば早く覺めよ、同じ見るべき夢ならば、私も美しい夢が見たい、と日毎々々に願はれた甲斐もなく、許嫁の人は再び元の明るい身にかへられることは出來ませんでした。虚報なれと祈られたその事が眞實だつたのです。雛芥子の花のやうに赤く燃えてゐる處女の魂は、どんなに慄えたのでせう。未來の歡びは微塵に踏みにじられのたでございますから。『私の未來は暗闇の底に突き落されてさゝやかな光さへも影をさゝなくなりました。』と曾つて身も消えるほどに泣き沈んでゐられたのも、無理からぬ事と思はれます。

□謠ふ時舞ふ時

かうした事があつてからは女史は鬱々として樂しまれず、明日にも命がつきさうに衰弱して了はれました。御兩親の悲しみは新らたに一つ加はりました。どうにかして助けてやりたい、心の痛手を忘れさせてやりたい、と念じ／＼て遂ひに謠を勸める事に決せられました。親を思ふ心の厚い女史は直ちに夫れを覺つて、生きて甲斐なき命ながら親の心を無にするに忍びず、唯々として命に從ひ、自分の聲にすべての悲しみが驚いて胸の奥から消えるやうにとでも言ふやうに、明け暮れ大きな聲でうなられるのでした。息は通つてゐても心は既に死に果てた身、せめて兩親の心でも休めておあげしたいとお思ひなつてゐたからでせう。

夫れから十年の日が暮れました。女史の心は尚ほ暗く閉されて居りますが、何の野心もなく一筋にその途に志してゐられますので、今は奥儀に達し、過去の苦しい思ひ出を消さう／＼と遊ばしてゐます。

『謠の極致に達した時、扇を持つて立つた時、幸に私の心は無になり得ます。而して私は大變丈夫になりました。夫ればかりでなく、謠や仕舞は人の心を和やかにし、精神生活に餘裕を與へるやうに思ひます。』と泌々語られた事があると申します。その前半生を涙につゝられてゐる女史の上を幸多かれと祈らずにはゐられません。（民子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學校に於ける父兄會

斬雲生

□私は最後の遲刻者

私は過日小學校の父兄會に參りました父兄會と言つては語弊があるから生徒保護者會と言ひ直します。學校からの通知狀には、日曜日の午前八時よりとありましたが女の兒が言ふには「先生が、父兄方に成る丈け午前中に來て頂きたいと言つて居た」との事に『若し保護者が一人一人づゝ受持の先生とお話をするのなら隨分暇がかゝる、然うして見れば十時頃にでも緩くり出かけて澤山だらう』位に油斷をして、私は十時少し前に學校に行きますと、豈圖らん校長の演説が已に終り受持教師の細々しい話の最中なのです。

□聞き次第忘れる

私は一時間余りもお尻が痛くなる迄我慢して其の綿密な行届いたお話を聞いて居ました。我々保護者の方では思ふても見ない樣な細々しい事を念入りに注意して呉れるので、私はほど〳〵感心しました。併し、一通り先生のお話が濟んだ時には、何を聽いたのか全然忘れて居ます。扨て之から四十人近く集つた保護者と學校當事者との間に、意見交換會が開かれる事と思ふて居ますと、豈圖らん、隣室で受持教師が保護者と個別に其生徒の事に就てお話がある次第で、そして參着順なのです、私は一番遲くいつたから最後になります。午後二時位の見當です、「斯うと知つたら、いの一番に來るであつたもの、失敗つた」と思ひますが、仕方がありません、で、私は校長と二十分ばかり雜談をし、生徒の成蹟物を見などして居る中に、午後一時になりました。併し私の番はまだ〳〵來ないのです。で、私は受持の先生へ斷つて「自分の考は、後で手紙にして差出す」と云ふ事に定め辭して歸りました。

□先づ刷物にして送達したら

歸宅してから考へて見ますと、あんな保護者會では、學校の方で折角日曜を潰ぶして精勤して呉れる程の効果は無さそうです。學校の方で草案を作つてあんな精密な話をするのなら、寧ろ、謄寫版なりで摺つたものを一週間も前に保護者に送達し、會の當日は、夫に就て自由な問答を試みた方が有効だらうと思ふのです半紙二十枚位の摺物に要する費用は、保護者の方で喜んで負擔すべき事と思ひます。二時間近く細々しい事のお話を聽く事は、私には隨分辛いのでした。

先づ摺物を讀んで保護者の方で氣の付いた事を、當日の會場で自由に懇談するとなれば保護者同士の間にも意志の疏通が出來、大いに氣乘りのする會合になりませう、其間に思ひよらぬ發明をする事もありませう。そして學校と家庭との思はく違ひも訂正されるでせう。

□會合を有効にする工夫

當日の會に參集した保護者は四十人ばかりでしたが、其中男は六人でした。其中老人が一人、書生風なのが二人です。眞劍で出かけた男は只つた三人と見られました。其他は婦人です、何れも中年の婦人が多かつたのです。併し、人中で發言しそうな、當節の新らしい女らしい方は見當りません。あの顔ぶれでは會合者全部の懇談會、討論會を開いた處で、發言者は至つて少なく、奇抜な名論も少なからうと思ひます。

折角學校で、あれ程骨折つて居るものを、保護者の方では輕く見て居る樣に思はれて私は氣の毒に感じたのです。そして隣室で受持先生と保護者との個別懇談も一人十分位にして二十人も立て續けに話すのでは、先生の方でも感じが疎く、記憶や印象も不透明になるでせう、個別懇談は、一日に二三人位、放課後にやる方が適當と思ひます。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏の化粧

汗をさへこ皮膚を冷やす法

理容館主　遠藤はつ子

お化粧で汗を止めますには、冬よりも一層下地を念入りに致します事が必要です。勿論薄化粧の方が宜しいのですが、脂の多い方などはそれが爲めに浮いてしまいますから、其の部分へマッサージクリームを塗つて、脂が取れます迄指先でよく擦つて、シャミスキン(柔かい皮)でよく拭き取ります。脂の少ない方でしたらばクリームのやうな化粧下を用ひず、ハイゼンニック、クリームを簪の耳搔きへ一杯位化粧水で溶いて、塗つて、ガーゼで拭き取つて、、水白粉か練白粉を薄くつけます。

尙ほ其の上を粉白粉をつけてよく擦り込んで置きましたらば、そんなに汗になる事はありません。其の上にライラック水でもおつけになりましたらばもう充分です。然し外出などの折非常に汗になりました時には、粉白粉を一寸おつけに

□汗押へによいもの

夏期は汗が出るからお化粧はしないとか、汗を押へるには冷水で度々拭くがいゝとか、云はれる方々も澤山ございますやうですが、私共の經驗からは、汗を押へるにはどうしてもお化粧をなさるのが最も宜しいやうに思はれます。大變にさつぱりして、汗の臭みも取れて、心地いゝ氣分は、水で拭ひました時よりも餘程よく、汗の出方も少なうございます。それに夏期水を多く用ひますと、秋口になつて顏が非常に荒れたり、ポツ〳〵したものが出たり致しますから出來るだけ冷水を用ひないで、よんどころなく用ひます時には、微温湯でお洗ひになるのが宜しうございます

□薄化粧がよい

十二

家庭で簡易に行ふ

顏面マッサージ

■■永久の美を保つ■■
■■老せぬ容貌美し■■

クラブ洗粉を掌に取り、それと同じ分量の湯か水で溶き、襟から顏にかけて塗り摩擦しながら洗ひ流し、手觸りの滑かになつた處をタオルかガーゼでよく拭いて水分を去り、乾いた肌へクラブマッセークリームを少量クラブマッセー溶液で溶き、乳狀にしたのを襟から咽喉にかけて塗り、水分の乾かぬ間に、兩手の指先を主として兩手掌で下から上に向けて摩擦しますと、垢のやうになつてクリームの作用で皮膚の汚れを隅々まで包容して落ち、生地の美しい色艶が出て、血色が生々と致します、これと同じ方法でお顏の方もマッサージを致しますと、頰の肉附も、眼尻の小皺も、額の皺も、次第に薄くなつて、若々しい容貌は永久に美しく輝き渡ります。

マッサージを終へましたらクラブ化粧水を薄く引いて、よく〳〵擦り込むやうになさいますか、又はクラブ美身乳液を擦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なると又元のやうにさつぱり致します。

□明礬は冷やす

顏と襟は前ので充分ですが、身體の汗を押へますのは、パウダかあせ知らずをお用ひになるのが宜しうございます。而し腋臭でない方でも、汗の爲めに非常に臭氣を放つ事があります。その時には燒明礬を一とつまみ程水で溶いて塗りますと、すつかり嫌な臭ひが取れてしまひます。且つ汗押へにもなりますから常に少しづゝ用意して置いて、さう云ふ時には日に幾度でもおつけになるのが、よろしうございます。

今週の惣菜

櫻井ちか子

△赤茄子のスープ　赤茄子の皮のまゝ四つ切にして、中ば蔽ふ位に水を入れ、柔かくなるまで煮ます。そして汁共に裏漉して鍋に入れ、一旦煮立てましたらば、重曹一摘みを入れると泡立ちますから、其の泡の消えるまで待つて、別に煖めてある赤茄子の濾汁と同量の牛乳を注し、鹽と胡椒とで味をつけるのです。重曹は赤茄子の酸味を取る爲めです。さもないと牛乳を入れた時化學作用を起して、牛乳が固って了ひます。生の赤茄子の無い時は罐詰又は瓶詰でも差支へありません。

△蛤の時雨煮　蛤の剝身を水で洗ひ、笊に揚げて水を切つて置きます。醬油の中へ擂味噌少しと生姜を入れて、それで蛤を一旦ざつと煮、更に取り出して、出し汁だけを火にかけ、半分位に煮詰めましたらば、先の蛤を入れて、汁のなくなるまで煮るのです。

△炒り卵の花三種　(一)酢入り　魚を鹽にして後酢につけて置きます。おからを擂鉢で擂つて布巾に包みよく水氣を搾り取つてから鍋に入れ、鹽と砂糖及び魚の酢少量を加へて、よく味のつく迄、炒るのです、炊り上つたらば細く刻んだ赤生姜を交ぜ込み、前の魚を入れて膳に上せます。(二)油炒り　葱を細かに刻み、油の煮立つた時に一寸炒ります。そしてよく搾つてあるおからを入れて少し炒り、醬油と砂糖とを加へて味のつく迄よく炒るのです。(三)五目炒り　葱、胡蘿蔔、蓮、牛蒡など有り合せの野菜を細かに刻み、魚の煮汁又は醬油で煮ます。其の中におからを入れ味がついてばらりとなるまでよく炒るのです。凡て炒り鍋はフライ鍋かアルミニュームを用ゐるのがよろしうございます。瀬戸引だと剝がれる恐れがあります。

り込むやうにしてお附けになりますと、柔軟で滑かなお顏お襟の生地となりまして、色艶は得もいはぬ美しさになるのであります、皮膚は常に斯して手入を加へて置きますと、健康美は自然と素顏の上に現はれまして、お化粧をなさいましても、自然と素顏の美しさが白粉を透して化粧の上に輝き、故意とらしい白粉の嫌味がなく上品な氣高い淑女式の化粧が出來るやうになります。殊に附けて高尙で美しく、洗つた後までも生地の色艶が生來自然に白く美しいやうな色になるクラブ白粉とクラブ美の素白粉でお化粧をなさいますと、白粉と生地との合致した不離不即の至妙の美しいお化粧が出來るのであります、これが絕對に他の白粉には眞似の出來ないクラブ本店化學研究所で新に發見した美身劑の配合から生ずる天下一品の特色でありますす、常にクラブを愛用なさる方は他の白粉や化粧品を迷ひながらお用ひになるよりも、眞に幸福とはいはねばなりません。

眞面目な神聖なる家庭に
賞用せらるゝクラブ化粧品には
中元用 クラブ進物凾あり

十三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妻

（一）

阪東みちゑ

お時は狹い庭へ張板を持ち出した。そして隅の方に一本づゝたつて居る櫻の木へそれをもたせかけてから一寸空を見た。空はきれいに冴え渡つてぢかに當ると暑いほどの秋日がかん〳〵輝いて居る。葉の落ちてしまつた櫻の枝が高い空にひろがつて文人畫の形をして居る。「よいお天氣だこと」と獨言のやうに云ひながら臺所からバケツを下げて來て丹念に張物をし始めた。頭には手拭をかぶつて居る、伏し目になつた目と肩が美しい。張物は銘仙の派手な縞である。敷のりをつけてくちや〳〵になつて居るのを根氣よく板に張りつけてしまふと、ほつとしたやうに勝手へ這入つて水道のネヂをひねつて、コップについだ水を一息に飲みほした。そして茶の間へ來て、針箱の前に坐つて、縫ひかけの仕立物を取り上げた。男羽織である。縫ひのこしてあつた襟をくけてしまふと、今度は針箱の引き出しから狀袋にはいつた手紙を出して見た。手紙は四五年前に卒業した女學校の同窓會からの招待狀である、是非御來會と書いてある、お時は行かうか行くまいかと考へる、行つて得意の人達ちの得意の樣子を見せつけられるのもよい加減なものだし、行かずに久しぶりに逢ひたい人たちに逢はないのも殘念だしとなか〳〵思案がきまらない。百舌鳥が櫻の枯枝へ來て氣急しく鳴き立てる、驚いたやうに仕立物をたゝんでしきのしのつもりで裁ち板を上からかぶせかけた。そろ〳〵支度をしなくてはならないが晩のお菜は何がよからうと思ふ。夫の好きな里芋も煮つけておかうと考へながら勝手へ下りた。すると隣のベスがひどい勢で飛んで來てワン〳〵吠え立てるので、お時は流し元の障子を明けて肴の骨を投げてやつた。

暫らくすると玄關の格子戸を開けて夫の壯吉が歸つて來た。お時は夫が玄關へはいる前から、あ、歸つて來たと思つた。足音でちやんと聞分る習慣になつて居るからである。靴を脫いで踏み臺へ片足あげた時、お時は障子の際まで出て來て右の手を一寸襷にかけたまゝ片膝ついて「お歸り」と簡單な挨拶をした。「うむ」とはつきりしない返事をして、夫は座敷へ這入つて行つた。座敷は八疊敷である。床の間に粗末な軸がかゝつて居るばかりで別段の裝飾もない、其外には一貫張りの机と小さな本箱がおいてあるだけである、机の前には派手なメリンス友禪の坐蒲團が敷いてある、壯吉は坐蒲團の上にどかと坐つて煙草を吹かし始めた、血色はあまり冴えて居ない。

お時がお盆の上にお茶を汲んで持つて來た。

「今日はいつもより遲かつたのね」

「うむ、敎員會議があつてね」

「さう敎員會議つてどんな事があるの？」

「どんな事つていつもの敎員會議さ」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「それはさうでせうけれども、異人さんも出るの？」
「そりや校長なんだもの」
「さうなの、學校に居る時は教員會議と聞くと乾度自分達の惡口を云はれるものときめ込んで恐がつたものですが、そんなに生徒のあらをさがすのはおもしろいものなの？」
「おもしろい事なんかあるものか」
壯吉は怒つたやうに云つて、盆の上の茶を一息に飲んだ。
「一寸待つていらつしやい、昨日のお菓子がのこつて居るかもしれないから」
お時は立つて戸棚から菓子皿を持つて出た。皿の中には楕圓形の栗饅頭が三つばかりある。
「今一つお茶をあげませう」
「お前は食はないのか」
「私はもう澤山、もうそろ／＼お夕飯にしませう、さつきから支度をしかゝて居ました」
「さう、別に食ひたくもないな」
お時は默つて勝手へ引つ込んだ。やがて膳立の音がして「さあ出來ました、どうぞ」と夫を呼んだ、今朝讀みかけておいた新聞をも一度丁寧に見かへして居た夫はのつそりと茶の間へ顏を出す。
「里芋を煮ておきました、柔う御座いませう、里芋は國のがよいのね。畠から掘り立てのを谷川で洗つて直に鍋に入れて煮るのですからね、風味が違ふのね」
默つて夕飯を頬張つて居た夫は、急に顏をあげて「お時、いつそ田舍へ行く事にしやうか」藪から棒を突き出したやうな夫の提供にお時は乾驚した。
「隨分あなたも物好きね、お芋がよいので急に田舍へ行く氣におなりになつたの？」
「いゝや、そればかりぢやないんだ」
「どうなの、けふは少し變なのね」
「うむ變なんだよ」
「どうなすつたのよ話して下さらなくちやあなんだかさつぱりわからないわ」
「話すよ飯をしまつてから」
食後茶碗を洗つてしましてからお時は針箱を持つて來て夫の側に坐つた。
「お前も毎日そんな事ばかりして居て飽きが來やしないかい」
「飽きが來たつてしやうがないわ、辭表の出し處もないもの、それよりもさつきの話はどうなの」
「おれは辭表を出さうかと思ふのよ」
「なせ」
「なせつてね、今日の會議で、異人のボールがね、此ミツシヨンスクールに奉職して居る諸君は是非クリスチヤンになる義務があると云ふのだよ、教員の中でアンテイクリスチヤンを標榜して居るのはおれ一人なんだからね。
それで洗禮を受ける覺悟が出來なけりや辭職をしてくれと云ふんだよ、おれも肝癪にさわつたからな、それぢやあ辭職にしませうと云つて來た。人を馬鹿にして居るよ。始めから信者ではないと斷つてあるのに」
「さうボールがどうしても信者にならなくちやあいやだとおつしやるの、そして外の人たちはみんな信者なの？」。
「信者なんだよ、幹事の佐竹などはね、君のやうな馬鹿律義を云つて居ては生きちやあ居られないよ。まあ高が外國人の事だからね、洗禮を受けて安心させてやればいゝぢあないか。」

十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

狼と山羊

（二）

たか子

その惡い狼は、三度目に山羊の家に行つて戸をたゝいて云ひました。

「子供たちや、母ちやんが、歸つてきましたよ、そして、いゝものを持つてきました」。

子山羊たちは、「あなたの足を見せて下さい、さうすればあなたが、本當にお母さんかどうかわかるから」と云ひました。狼は、その白くした足を窓の上にのせました。子供がそれを見ますと、眞白かつたので、みんな本當の御母さんが歸つてきたものと、思つて戸をあけました。然し、それは子山羊たちの一番こわがつてゐる、おそろしい狼でした。

皆はおどろいてかくれ樣としまして一人は、食卓の下に、もう一人は寢床の中に、三人目のは釜の中に、その次は臺所の中に、五人目のは蠅帳の中にその次のは盥の中に、一番少いのは時計箱の中に入つてしまひました。

けれども狼がみつけなかつたのは、その時計箱の中へかくれた一番小さいのだけで、外のはみんなみつけだして一寸の間に呑んでしまひました。

山羊の家をころがり出た狼はお腹のいつぱいになつたのといつしよにだるくなつて、眠くなつたので、牧場の木の陰で、横になつて、ぐうぐうとねむつてしまひました。

此の後でぢきに、お母さんの山羊が、林から家にかへつてきました。まあ……その時お母さんはどんなに、おどろいたでせう！外の戸はあけつぱなしで、テーブルや、こしかけなどはひつくりかへつて、盥はこなごなにこはれ、蒲團や、枕などが大混雜に、ちらかつてゐました。

十六

御母さんは、家中子供をさがしまわりました、けれどもみつかりませんでした。それから、一人々々の名前をよんでみましたけれども、やつぱり返事がありませんでした。

おしまひに、末の子のかくれてゐる、時計箱の前をとほりますと、弱い聲で、「お母さん、私はこの中にゐます」と、云ふのがきこえましたから、早速にふたをあけてやりますと、一番年下のが、出てきて、狼が來た事から、兄さんや、姉さんだち、みんなをたべてしまつた事を泣きながらお話し致しました。

お母さんはひどく腹を立てました中にも、「可憐さうな事をした」と頻りに嘆きましたが、だん／＼とおちついて、のこつた一人の子供をつれて、憎らしい敵の狼を探しに出かけました。

二人が牧場にまゐりました時には、狼がまるで、木の枝がふるえる樣な、大きな、いびきをかいて眠つてゐました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□御繭百貫目御下賜　皇后陛下には今春來紅葉山御養蠶所に於て御手づから御飼養遊ばされた御繭約百貫目を、十二日西ヶ原東京高等蠶絲學校に御下附相成りました。同校にては御繭より生糸を製出の上全部上納する由。

□澄宮御避暑新邸　天皇皇后兩陛下には例年の如く來七月下旬を以て日光田母澤御用邸に御避暑遊ばされ、同時に澄宮崇仁親王殿下にも御同伴あらせらるべきに付き、先頃より同御用邸に澄宮御用の附屬邸新築に着手し工事を急ぎつゝあるが、竣成は七月上旬の見込なりと。

◉支那の近状　▼袁大總統逝去　袁氏は去月廿五日頃より胸部に痛みを覺え佛國醫師の診察を受け居たりたるが、四日より俄然重態に陷り、遂に六日午前十時逝去したり。尚ほ袁氏の死因に就きては種々なる風說あり、或は毒殺ならざるかともいふ。▼黎氏就任　黎元洪氏は直ちに袁氏の後を續ぎて大總統に就任せり。▼袁氏正夫人殉ず　袁氏瞑目するや長子克定、次子克文は痛哭、殆ど昏倒せんとし、内侍に扶けられて我に歸りたりと。又袁氏の正夫人は殉死し、第三夫人は哀悼甚しく毒を仰がんとし、左右に抑へられて果さず、第七公子は七日天津にて結婚式擧行の筈なりしも無論中止せりと。

◉歐洲大戰近況　▼希臘の嚴守中立　希臘は共同して聯合軍の行動を妨げんとする勃牙利軍よりの提議を拒絕し、獨逸及び勃牙利に何等の協定無きを證する爲め宣言して一部の軍隊を解隊し中立政策の僞りなきを示せりと。▼伊國内閣瓦解　伊太利内閣は十一日瓦解したりと、そは北境の伊軍甚だ振はず、開戰當時占領したりし少許の陣地も墺軍の爲めに奪還せられ、加ふに敵の侵入甚だしければサランドラ内閣は責任を負ふて總辭職をなしたるものなるべし。されど皇帝は再びサ氏に内閣組織を命ずべしと。▼露軍の大戰勝　各方面の戰鬪に於て大勝を得ストリッパ河東海岸及びバクザッツをも占領し鹵獲亦多大なりと。▼佛軍もガヴァラの前方なるタンス島を占領せりと。

◉キ元帥溺死　英國陸軍の柱石たる伯爵ホレーシオ、ハーバート、キッチナー元帥は幕僚と共に巡洋艦ハンプシャ號にて露國に向ふ途中五日オークネー島附近に於て浮流水雷か、或は敵の水雷攻擊かによりて塔乘艦と共に沈沒溺死したり。

◉在京中のタゴール　五日夜入京せるタゴール翁は連日各所の招待に應じ、十日午後三時谷中美術院に於て美術觀を述べ、十一日午後四時より、帝國大學八角講堂に於て開かれたる公開大講演會に望み、十二日には美術院主催の歡迎會に望み山姥の能に非常なる興味を覺えたりと。尙ほ十三日には上野寛永寺の大歡迎會に赴きたり。

◉ゴルキー氏來朝せん　露國文豪マキシム・ゴルキー氏は六月中旬露都出發日本漫遊の途に就くべく、途中西比利亞研究をなすべし。

◉下村少佐の陞叙　下村少佐の戰死に付昨日海軍省にては愈五月三十一日午後四時二十六分乘艦クヰン・メリーにて戰死せる旨を發表し、戰死當日附を以て海軍中佐に陞任し、正六位に敍し、功四級金鵄勳章を授けられました。

◉新博士十六名　十二日學位授與せられたる新博士左の如し。

醫學博士副島勝四郎、天津創、吉永福太郎▲理學博士和田猪三郎(以上京都大學論文提出)▲醫學博士東條經治、佐藤清一郎、戶上駒之助(以上九州大學論文提出)太田孝之、小口忠太、田村昌、入代豐雄、肥田七郎▲理學博士石原純、川村清一(以上東京大學論文提出)▲理學博士九州大學教授桑木彧雄▲工學博士長瀬純次郎。

◉驅逐用新飛行機　豫ねて陸軍航空隊で製作中なりし驅逐用小型飛行機は漸く竣成し十二日試運轉をなしたり。因に同機は操縱を失して墜落するが如き危險を防止し得て、宙返りもなすを得べしと。

◉盲人の爲の圖書館　本郷及び神田の兩圖書館に於ては點字圖書館を新設準備中なるが、更に築地本願寺内盲人技術學校に於ても、創立十周年と御大禮記念の恩賜賑恤金拜受とを記念する爲め、同樣の計畫ある由です。

◉養育院入院者減少　從來年々同院の入院者は其の數を增しつゝ來ましたが、本年は昨年に比して一ケ月百人位の減少を見るに至りました。之れは軍需品製造の爲め、下級の人の職を得る便宜あると米價の割合に低廉なる爲めであるとの事です。

◉スミルノウ孃出演　露國帝室劇場一等女優の同孃は來十六、七、八の三日間帝劇に出演の筈。

◉地藏祭　神田區北神保町東洋家政學校及び東洋幼稚園では、十一日午後一時から運動場の一隅に祭つてある地藏尊の祭に併せて、亡くなつた園兒や生徒達の供養を營みました。白布で掩れた祭壇には、女學校とこの幼稚園とを通じて、三十二名の愛らしき御靈を現はすべき寫眞が安置され、導師本郷湯島靈雲寺光野大和尙のもとにおごそかな式を擧げ、午後二時から餘興會に移りました。

◉娛樂用水を止める　東京市水道の水が不足して降雨が無ければ灌漑用にする分水を三分方塞ぎ一方市内に對しては娛樂用の斷水を實行することは既報の通りですが水道課では愈十日吏員を派出して三分塞ぎと噴水、瀧、池等娛樂用の斷水を行ひました。梅雨前に斯んな事をするの

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は今回が始めての由です。

講習會

▲小石川女子大學校内の櫻楓會では、七月十三日より八月五日迄、例年の通り各專門の教師を聘して、料理、刺繡、生花(投入れ)禮法英語及び家事實習の各科に亘つて、夏季講習會を開催致すさうです。殊に家事實習は今回新らたに增設されたもので、地方教員及び家庭の方々の爲めに、利する處が多からうと存じます。

▲本鄕彌生町の櫻井女塾で來月から每週月水金の午前を利用して、塾主櫻井ちか子女史指導のもとに、料理講習會を開催致します。會費は材料實費とも一回每に五十錢宛ですから、會員は適宜に出席し或は欠席する便がございます。

▲麴町區富士見町五ノ二大妻技藝傳習所に於ては七月廿日より八月三十日迄四十日間、袋物、編物、刺繡、摘細工、壜細工、縫細工、儀式用折紙、水引結方等につき、講習會を開く由。

女學校だより

△共立女子職業學校　十一日樂聲會記念音樂會を講堂に開催。

△市立第一實科高等女學校　九日午前二學年生四十四名は讀賣新聞社印刷工場を參觀したりと。

△東洋高等女學校　今年は慧心僧都九百回忌に相當せるを以つて本月廿五日午後一時より佛前燒香の法式及び講演會を催すべしと、殊に當校は婦人會集者の爲めに設けられたるものなりと。

個人消息

▲坂本英子(海軍中將一氏令孃)(二〇)　十二日海軍中尉有光米吉氏(二六)と華燭の典を擧げらる。

▲池田蕉園　近日眼病にて引き籠り中。

▲岩村元子(小崎千代子氏母堂)　離れて病氣の處醫藥の効なく五日永眠さる。

▲梁川すゞ子　(保嘉翁夫人)長らく引き籠りたりしが十一日午前逝去さる享年六十三。

▲栗野前大使母堂　(八二)赤坂檜町の本邸に於て七日逝去さる。

公娼廢止の應援

本社宛寄附の分(一口金五錢)

▲埼玉の無名女樣より「(前略)殊に公娼廢止問題に就ては、大膽なる御筆を以て、御叫び下され候段感佩奉り候。聊か此處に寸志を呈し度、別紙郵券を以て十口御送附申上候間、微衷御受納願ひ上候」▲府下高島賢淨樣より「御社御盡力の公娼廢止につき、同志を募り度奔走致し居候處、小生の近處に居る高等師範附屬小學校の三年に通はるゝ本多又三郎さんと申す少年は、家に歸り母君に相談なされ、直ちに五錢を持參致され候間、御取次申上候」と。▲かやうな熱心な方々の御應援により、早くも豫定の五百口を超過致しました。然しこの事の成就する迄は、私共の擧げたる手は一寸も緩めません積りです。どうぞ皆樣にも不斷の御助力を願ひます。

有田照代	小田しち	本多又三郎
野原けい	中田かめよ	奥村俊一
高島君枝	大島八重	高坂よし
万代三木枝	万代きよ枝	鈴村不二
丁はろ	高島賢淨	武市成城
柴田淳藏	無名女(十口)	

小計二十六口　累計五百五十四口

編輯室より

▲愛國婦人會改革案に就ては、諸方から贊同の聲を寄せられます。笛吹けども踊らざる人々あらば、皆樣と御一緒にどうか動かして參り度いものです。▲朝の仕事を終つて編輯室の椅子によつて、暫らく讀書して居ると七時が鳴ります。それから執筆編輯の間々に訪問したり、來客に接したりして、夜の十時迄、殆ど憩ふ間はありませぬが、この半年風邪一つひきませぬ。忙しい事はほんとうに惠みであると存じます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、親裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報

(毎週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金貳拾錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

墨繪の帶

夏は白絹、白襦子、麻等の帶地に墨繪を書いたもの、が、涼しさうでよいものです。お望みの方には二圓乃至三圓で某畫家に本社から取次致します。

——婦人週報社代理部——

個人教授

大妻技藝傳習所

▲東京市麹町區富士見町五ノ二（靖國神社横）

夏期講習豫告

開催期日（自七月二十日至八月三十日 四十日間（個人教授なれば入會何時にても差支なし）

科目及び擔任講師（●刺繍（淺井常次郎）●袋物（横山芳山）●編物（清水類子）●摘細工（吉岡房次郎、羽塲琴子）●綿細工（矢吹鎮德）●行體摘（船橋水夕）●塲細工（奥平かゝゑ）●縫細工、儀式用折紙、水引結方（大妻一惠）以下助教師數名。

會費（各科共 普通科 金壹圓 高等科 金壹圓五十錢

▲各科擔任講師は何れも都下一流の專門大家なり。

▲本所には家族的寄宿の便あり。

（規則書は御申込次第送呈す）

合名會社

飯嶋婦人洋服店

男女小兒服裁縫並に附屬品販賣

電話 新橋 二五一八番

東京市芝區南佐久間町一丁目一番地

ピーナットバター

大罐 六十錢

小罐 卅五錢

ピーナットバターは蛋白質脂肪等を多大に含有するが故に極めて滋養に富み便秘脚氣、衰弱、貧血、冷へ性、肺病、糖尿病等に卓効あり

婦人週報社代理部取次

振替東京三一六六〇

S. KATO, Stationer.

内外文房具並學校用品

東京九段下電車停留塲側

エスカ堂

電話番町七八番

振替口座東京三二四九〇番

小橋様の御事業に賛成し婦人週報の讀者の方には多少の割引をいたします此廣告を御持參下さいまし

加藤咲

古本

高價に買受ます

御一報次第何時にても參上します

牛込區早稲田鶴卷町百十一

文學堂書店

電話呼出番町九四一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地(市ケ谷見附内)
電話番町 六二番
東洋内科醫院
院長 醫學博士 **高田畊安**
電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車塲半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります
和洋服
外套インバ 東コート
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニング
染色をと **丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館御用
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
院長 **女醫 吉岡彌生**
東京至誠病院
電話番町三三五七

齒科
ドクトル **富田貞一**
日本橋區高砂町六
(久松町停留塲より西一丁)
電話浪花五四〇五

殺菌と血止めに便利なる
毒消し筆 一本金拾錢 送料金貳錢
●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其塲所を殺菌す
●携帯至便●使用簡便●殆んど永久に用ひられる●是非一本を試みあれ
(注意)參錢郵劵四枚封入御注文あれば即時發送す
發賣元 小石川區高田老松町十七 振替東京三一六九二 目白藥局

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卌一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

肝油服用者之福音
諸大醫の賞讚
最新式の軟質膠球劑絕對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である
肝油球の特効
身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艷のなき人
油氣の少ない人
三百錠入 壹圓
百錠入 七十錢
五十錠入 四十錢
送料各八錢
富谷 肝油球(カンユータマ)
發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工塲 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番
體力精力增進に今が肝油服用時期

英語生徒募集
▲各の學力により適當の各級を撰擇する事を得▲なほ午前二時間位高女卒業生の為めの組を特設す▲又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。▲家庭的寄宿舎の設けあり。▲ピアノ個人教授の需めに應ず。
本郷彌生町三番地(電話下谷六八一五)
英語専門私立 **櫻井女塾**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

感想及隨筆集

與謝野晶子女史新著

人及び女として

總洋布製天金函入頗る美本
紙數三百五十頁紙質舶來縞目ラフ

定價一圓
送料八錢

中央新聞評──詩人として晶子女史の名聲は今更呶々を要せざるべし女史が詩作の傍ら其の所感隨筆等を各雜誌等に依りて發表したる物も既に積んで山を成せり本書亦其の一なり「人及び女として」女史は如何に世を觀、人を觀此に對する自己を觀つゝあるか其の序言に於て「**どうぞ私に之が私の眞實であると思ふ所を語らせて下さい**」と斯くて女史は先づ婦人問題の根本に就き犀利なる筆致に爛々たる眼光を以つて之を批判し更に之に對する眞摯なる要求を吐露したり其筆は一方敎育を論じ文藝に及び人としての感想に及ぶ蓋し現代に於ける「**讀まねばならぬ書**」の中に加はるものなるべし。

與謝野晶子女史新著

舞ごろも

■橋口五葉氏裝畫

【新刊】 定價一圓 送料八錢

女史が歌は其の細密なる自己省察の努力と深き生活の沈潜の奥底とより漸くにして精透なる理智と驚くべき技巧の圓熟を加へ來れり。本書は實にこの轉向期に於ける女史が最近の詩歌百篇を收めたるもの、蓋し明治詩歌壇に於ける女史が偉業を知るものは本書が現代及後代に對し、如何に重大なる意義と價値とを更に獲すべきかを窺知するならん敢て以つて江湖にすゝむ

西本朝春氏著

美貌と表情

【新刊】 定價三十五錢 送料四錢

其の美貌に純な心と愛が靈活して居なければ、石膏像や油繪と何等撰ぶところはない。純な心と愛が靈活して始めて造物者の傑作たる眞の艷麗と美となるばかりではなく夫れが充分に靈活すれば容貌美の缺點を蔽ふ力があるから容貌美が缺けて居るからとて悲觀するには及ばないのである

（內容の一節）

東京市牛込區神樂町二丁目二二番地　天弦堂　振替口座東京二九五五九番

御料 御園白粉

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして專ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乘りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
粉おしろい 御園の花
御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
濃化粧水粉下 御園の蕾
洋式化粧下 御園クレーム
高等香水 御園香精
化粧香水 御園の橘
高等香水油 御園香油
高等はみがき 御園齒磨

製造本舖 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA